

第22回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

第17回

中学生創造ものづくり教育フェア

岐阜県大会

令和4年10月 29日（土） 岐阜県立国際たくみアカデミー



競技内容

- 1) 中学生「ものづくり」作品コンテスト岐阜県大会表彰
- 2) 木工チャレンジコンテスト岐阜県大会
- 3) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール岐阜県大会
- 4) 「あなたのためのおべんとう」コンクール岐阜県大会審査
- 5) 創造アイデアロボットコンテスト岐阜県大会

※競技内容については、変更になる場合があります。ご了承ください。



主催：岐阜県教育委員会

岐阜県小中学校教育研究会

中学校技術・家庭科研究部会

共催：美濃加茂市教育委員会

第22回全国中学生創造ものづくり教育フェア 第17回中学生創造ものづくり教育フェア 岐阜県大会

- 1 期日 令和4年10月 29日(土)
- 2 場所 岐阜県立国際たくみアカデミー 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3545-3
電話 (0574) 25-2423
- 3 主催 岐阜県教育委員会(学校支援課)
岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会
- 4 共催 美濃加茂市教育委員会
- 5 後援 岐阜県産業教育振興会 中日新聞社 熊樹堂 トップマン 等(申請中)
- 6 日程 開閉会式などを行わず、各競技を開始する。(全体会・表彰式なし)
競技詳細は、別紙大会要項参照
- 7 来賓 国際たくみアカデミー 校長 森保様
- 8 役員 岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会員

全体日程予定【令和4年10月29日（土）】

時間	国際たくみアカデミー							
	ものづくり作品表彰式 ※今年度は中止	ロボットコンテスト 〈たくみホール他〉	木工 〈建築科実習室〉	バッグ 〈制御工学実験室〉	おべんとう 〈環境工学実験室〉			
8:15		役員集合・準備	役員集合・準備	役員集合・準備	役員集合・準備			
8:30			受付・準備 (審査打ち合わせ)	作品・レポート審査 8:30~10:30				
8:45			開会式・競技準備			打ち合わせ		
9:00		Zoomにて接続確認 生徒受付・車検(各会場)	競技開始(2時間) 9:00~11:00		オンライン受付			
9:15					プレゼン審査開始 9:20~			
9:30		審判説明会			競技再開(2時間) 12:00~14:00	※1分×6名		
9:45						競技開始 部門ごとに回線接続	レポート審査 プレゼン審査終了後 ~12:00 ※オンラインによる 結果発表なし	
10:00		開会式 各競技の説明を含む						
10:15		※昼食については各会場 で自分が競技に参加しない ときにとる。						10:50 オンライン受付
10:30								開会式・諸注意
10:45								11:10 プレゼンテーション (30分程度)
11:00				審査				
11:15				11:50 諸連絡				
11:30			11:00~12:00 昼食/休憩					
11:45								
12:00								
12:15								
12:30								
12:45								
13:00								
13:15								
13:30								
13:45								
14:00								
14:15								
14:30		閉会式	プレゼンテーション 14:00~14:30					
14:45			審査14:30~14:45					
15:00			閉会式14:45~15:00					
15:15			生徒解散 15:15					

第17回中学生創造ものづくり教育フェア岐阜県大会実施上の新型コロナウイルス感染予防について

1 大会実施に当たっての基本的な考え方について

【大会開催に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の基本（マスクの着用 手洗い等の徹底）
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

2 大会実施時の感染防止策について

(1) 感染源を絶つ

- 大会本部・各競技責任者は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある生徒や引率者は、大会に参加させないことを徹底する。**受付時に健康カードの記録の提出**を求め、健康管理も徹底する。

(2) 感染防止の3つの基本

ア マスクの着用

- 大会本部・各競技責任者は、生徒、引率者にマスク等を準備させ、大会中は食事中等を除いて、**基本的にマスク等を着用**し、咳エチケットを徹底するよう指示をする。

イ 手洗い等の徹底

- 大会本部・各競技責任者は、受付時に手指の消毒を行うことを徹底する。

(3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

- 原則として**無観客で実施する。**

・生徒：大会参加生徒のみ。 ・競技役員：最低限の人数とする。

- 大会参加人数に関わらず、引率者は各中学校で1名とする。

※「木工チャレンジ」に関しては、動画撮影が必要なため、参加生徒1名に対して引率者を1名までとする。（例：同一中学校から2名参加の場合は、引率者は2名までとする。）

- 大会本部・各競技責任者は、屋内で実施する競技において、換気設備を適切に運転する。

令和4年10月29日

大会関係者 様

岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会
会 長 丸 山 早 苗
(岐阜大学教育学部附属小中学校 校長)

写真使用に関する同意書について

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は中技家フェア部の諸活動に対するご理解・ご支援をいただきありがとうございます。

さて、見出しの件につきまして、第17回中学生創造ものづくり教育フェア岐阜県大会における活動の様子や作品の写真をホームページやハンドノートなどに掲載させていただきます。その場合は、個人が特定できない写真を使用します。

つきましては写真の使用について同意書を取らせていただきます。

写真使用に関する同意書

本大会に関する活動の様子や作品の写真の使用に同意します。

令和4年10月29日

_____中学校

生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

※大会に参加する際に、受付で同意書の提出をお願いします。

※また、レポート審査等で大会に参加される場合は、各競技担当者の指示に従って提出してください。

※同意できない場合は、10月27日までに各競技責任者に連絡してください。

「中学生『ものづくり』作品コンテスト」実施要項

1 目的

- (1) 生徒が自分自身の生活を見つめ、願いや課題をもつてものづくりに取り組むことを通して、知識及び技術の向上を図る。
- (2) 作品製作に励んだ成果を認め励ますことにより、より豊かな生活を営む力と問題解決能力の育成を図る。

2 主催

岐阜県教育委員会
岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会

3 事業概要

生徒が生活を見つめ、より豊かにする願いをもち、製作に主体的に取り組んだ作品を広く募集して、優れた作品を公表する。

4 応募

(1) 資格

県内の中学校、義務教育学校(後期課程)及び特別支援学校中学部に在籍する生徒

(2) 応募作品

以下の2部門にて作品を募集する。

・Ⅰ部門(授業内製作作品)

技術分野・家庭分野とともに、総製作時間(設計・製作を含む。)数のうち、80%以上の時間が教科の授業中に創造製作した作品部門(総合的な学習の時間、放課後の活動、部活動、休み時間等は、教科の授業中の製作活動とみなさない。授業で製作した作品のみをⅠ部門とする。)

・Ⅱ部門(自主製作作品)

技術分野・家庭分野とともに、技術・家庭科で学習した知識及び技術を生かして製作した創造作品で、Ⅰ部門(授業内製作作品)に該当しない部門(総合的な学習の時間、長期休業や放課後の活動、休み時間等で製作したもの。)

【大きさ等の制限】

・縦+横+高さ=160cm以下、重量25kg以下であること。

【作品製作費の制限】

・Ⅰ部門は、製作費が5,000円以下であること。

【留意事項】

- ・家庭分野の衣類に関して1着の重さは、作品規定を超えてはならない。
- ・2人以上で製作した作品は、Ⅱ部門で応募すること。
- ・著作権、知的財産権を侵害しない作品であること。
- ・補足説明の資料はA3までの大きさの用紙1枚以内かA4サイズのファイルとする。

(3) 応募締切

地区審査：令和4年 9月9日(金)まで※レポートのみ審査

※Ⅰ部門・Ⅱ部門とも同一締め切りとする。

(4) 応募方法

(地区審査)

(ア) 各学校から「学校取りまとめ用紙」を電子メールにて送付。

・申込先=教育研修課 技術・家庭科担当宛て
電子メール：c17781@pref.gifu.lg.jp

(イ) 「応募用紙①・②」を郵送にて送付。

【送付先】※後日、掲載予定

飛騨・東濃地区→恵那西中学校

(〒509-7205 岐阜県恵那市長島町中野 1269-261)

美濃・可茂地区→小金田中学校

(〒501-3941 岐阜県関市小屋名 127)

岐阜地区→北方中学校
(〒501-0431 岐阜県本巣郡北方町北方 1377-1)
西濃地区→養老町立東部中学校
(〒503-1384 岐阜県養老郡養老町下笠 2769)

5 審査・表彰

I 部門（授業内製作作品部門）

(1) 地区審査 (ア) 会場

県内地区会場

飛騨・東濃地区→恵那西中学校

美濃・可茂地区→小金田中学校

岐阜地区→北方中学校

西濃地区→養老町立東部中学校

(2) 県審査

(イ) 審査員 ・岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 役員及び研究員

・岐阜県教育委員会技術・家庭科担当指導主事

(ウ) 表彰 応募者全員に参加証（努力を讃えて）を贈る。

(ア) 会場 岐阜県総合教育センター

(イ) 審査員 ・岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 役員及び研究員

・岐阜県教育委員会技術・家庭科担当指導主事

(ウ) 表彰 ・優秀な作品を製作した生徒に表彰状を授与する。

(3) 審査の観点

①生活に根ざした作品：生活とのつながりを意識できる作品であるか。

②創意工夫ある作品：創意工夫が認められるものであるか。

③正確さに基づいた作品：適切な方法で正確に加工や製作ができてい
るか。

④実用性ある作品：実用的であるか。

II 部門（自主製作作品部門）

(1) 地区審査 (ア) 会場

県内地区会場

飛騨・東濃地区→恵那西中学校

美濃・可茂地区→小金田中学校

岐阜地区→北方中学校

西濃地区→養老町立東部中学校

(2) 県審査

(イ) 審査員 ・岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 役員及び研究員

・岐阜県教育委員会技術・家庭科担当指導主事

(ウ) 表彰 ・優秀な作品を製作した生徒に表彰状を授与する。

・審査に応募した者に参加証（努力を讃えて）を贈る。

(ア) 会場 岐阜県総合教育センター

(イ) 審査員 ・岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 役員及び研究員

・岐阜県教育委員会技術・家庭科担当指導主事

(ウ) 表彰 ・優秀な作品を製作した生徒に最優秀賞，優秀賞を贈る。

・最優秀賞，優秀賞以外の作品は入選としてその作品を
製作した生徒に賞状を授与する。

(3) 審査の観点

①生活に根ざした作品：生活を見つめ，よりよいものにしようという願
いが込められているか。

②創意工夫ある作品：願いが実現できるような創意工夫がなされている
か。

③正確さに基づいた作品：習得した知識や技術が正確・確実に活用され
ているか。

④実用性ある作品：実用性があり，完成度の高い作品であるか。

6 その他

・「学校とりまとめ用紙」「応募用紙①・②」は以下のURLにてダウン
ロードして使用すること。

岐阜県総合教育センターの教科WebページURL

<https://webc.gifu-net.ed.jp/gika>

- ・地区審査はレポート審査を行う。地区審査を通過し、県審査進出作品は、作品を岐阜県総合教育センターへ後日送付もしくは搬入し、作品及びレポートの審査により優秀作品を決定する。
- ・電子メールにて提出となる「学校取りまとめ用紙」は、賞状に印字する原本となるため、学年や氏名、作品名を正確に記入すること。
- ・レポート送付先と「学校とりまとめ用紙」の送付先が違うため、上記応募方法を確認すること。
- ・地区審査の結果の通知を、9月16日（金）以降に行う。
- ・県審査は、作品及びレポートの審査となるため、作品の送付、搬出入が必要となる。方法については、協議の上決定する。

※搬出入場所：岐阜県総合教育センター

搬入日時：別途連絡

搬出日時：別途連絡

7 連絡及び問合せ先

岐阜県教育委員会学校支援課 中学校技術・家庭科担当

TEL：（058）272－8859

岐阜県総合教育センターの教科Webページ URL

<https://webc.gifu-net.ed.jp/gika>

「ものづくり」作品コンテスト応募用紙

学校名	立	学校 学園	番号
			学校電話
			学校FAX
ふりがな 氏名		学年	年
作品名	○をつける。		
	個人 ・ 共同		
大きさ	縦()cm × 横()cm × 高さ()cm		
分野名	技術分野	家庭分野	その他()
応募部門 ○印をつけ、製作時間を 記入する	() I 部門 授業内製作作品部門	製作時間()時間 そのうち授業時間()時間	
	() II 部門 自主製作作品部門	製作時間()時間	
作品製作への願い			
作品製作で工夫した点			
作品の感想			

〔注〕

- 「応募部門(I部門、II部門)」については、当該実施要項「4 応募」を参照すること。
- 全国中学生創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクールにおける応募規格は、下記のとおりとなっており、県の優秀作品の選考にも適用されるので承知置きください。
【応募規格】「縦+横+高さ=160cm以下、重量25kg以下」とする。
- 「分野名」及び「応募部門」については、該当箇所を○で囲む。

「ものづくり」作品コンテスト応募用紙

学校名	立	学校 学園	番号
			学校電話
			学校FAX
氏名		学年	年
作品名		応募部門	部門
作品全体が分かる写真		作品の正面(立画面)	
接合部や工夫部が分かる写真①		作品の上部(平画面)	
接合部や工夫部が分かる写真②		作品の側面(側画面)	

「創造アイデアロボットコンテスト」 岐阜県大会(リモート方式)要項

1. 期 日 令和4年10月29日(土)
2. 場 所 回線本部：国際たくみアカデミー
美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3545-3 TEL：0574-25-2423
各地区の中継会場：【未定】(詳細は後日連絡します。)
3. 主 催 岐阜県教育委員会(学校支援課)
岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会
後 援 岐阜県産業教育振興会 熊樹堂 トップマン 中日新聞社
4. 目 的 (1) 中学校技術・家庭科で学習した知識や技術を生かしてロボットの設計・製作を行い、その成果をコンテストの場で発表することを通して知識や技術の向上を図る。
(2) コンテストをひとつの授業の場としてとらえ、参加者が互いの工夫点や機能性・構造等を学び合う。
(3) ものづくりを基盤とする人づくりを目指し、創造力とチャレンジ精神をもった、たくましい生徒を育て、本県の産業教育の活性化につなげる。
5. 日程(現段階での予定)

<時間>	<内容>
8:30	各役員が会場に集合、打ち合わせ
9:00	Zoomにて各地区受付、接続確認、カメラアングル最終確認 各地区会場での、生徒受付及び車検
9:30	審判説明会(競技の流れ、ルールの確認など)
10:00	開会式(各競技の説明を含む)
10:30	競技開始(各部門ごとに回線を接続する) ※対戦表は大会までに連絡します。
14:30	閉会式

6. 競技について

(1) ルール及び部門

- ・全国大会のZoomによるリモート方式に準じて、**県大会もZoomによるリモート方式でのオンライン対戦を実施します**。変更があった場合は、その都度、岐阜県中技家研のホームページにて連絡しますので、ご確認ください。
- ・「令和4年度創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会」のルールに準ずる。
(詳しくは <http://ajgika.ne.jp/~robo/> 参照)

i) 基礎部門「Ace in the hole 2」

自陣のスポット8カ所に、アイテム6本をシュートする競技。競技前にお互いロボットの特徴を紹介し合い、その特徴に応じて場所を指定し、お邪魔アイテムを2本設置させる。その後、1分間で、自陣に膝の高さからアイテムを素早くまく。競技時間は90秒。時間内にシュートしたアイテムの個数もしくは、6本すべてのアイテムをシュートした時間で勝敗を決める。

ii) 計測・制御部門「ドキドキ!ロボット収穫祭」

アイテム置き場にある3つのアイテムを1つずつ回収する競技。コース中に障害物がある「赤コース」と障害物のない「青コース」を選択する。また、競技中にアイテムやロボットに触れない「全自動」かスタートエリアなどでアイテムやロボットに触れる「全自動ではない」かを選択し宣言する。競技時間は90秒。対戦相手と比較し、収穫したアイテムの個数(得点)で勝敗を決める。なお、障害物の「あり・なし」、全自動で「ある・ない」で、アイテム運搬時の得点が変わる。

iii) 応用部門「支援物資を運搬せよ！」

コート中央にあるアイテムを回収し、自陣3ヵ所ある高さの違うゴールエリアにアイテムを置く競技。有線操作によるメインロボットは2台まで、自動でゴールを狙うビックリドッキリメカを1台使用することができる。ビックリドッキリメカがアイテムをゴールした場合、そのエリアのアイテム得点が2倍になる。競技時間は150秒。アイテムのゴール数に応じて得点を決め、その合計点で勝敗を決める。

(2) 参加資格

- ・各地区大会での予選を勝ち抜いた生徒

※地区ごと県大会への出場枠については、9月上旬ごろに各地区担当から出場チーム数を報告してもらった上で、地区ごとのエントリー数に応じて配分します。参加人数が分かり次第、各地区担当に連絡します。

(3) 申込方法及び締め切り

- ・所定の応募様式に必要な事項を記入し、出場校から下記の応募先へ電子メールにて申し込む。(応募様式は、後日、各地区担当にメールで送信します。)

・応募締め切り 令和4年10月14日(金)

(4) 参加費

・1チーム800円

※当日、各地区で受付時に集めます。

7. その他

- ・県大会の競技審判・受付等の役員を出場校の先生方をお願い致します。当日の役割については、後日お知らせ致します。
- ・リモートによる中継地については、各地区で集まる場所を現在計画中です。確定しましたら、各地区担当者より出場校の顧問の先生に連絡するようにしますので、今しばらくお待ちください。

8. 申込先及び問い合わせ先

岐阜県中学校技術・家庭科研究会 フェア部
創造アイデアロボットコンテスト 岐阜県大会担当
可児市立中部中学校 加藤 佑弥
TEL: (0574) 62-1161
FAX: (0574) 60-0393
メール: chubu@school.city.kani.gifu.jp

**令和4年度中学校技術・家庭科 創造ものづくり教育フェア
アイデアロボットコンテスト県大会 参加申込書**

学校名			
学校住所			
学校電話			
学校FAX			
学校メール			
学校長氏名		フリガナ	
担当教員氏名		フリガナ	

基礎部門	チーム数		参加人数	
計測・制御部門	チーム数		参加人数	
活用部門	チーム数		参加人数	

※担当教員氏名の欄には、当日引率と審判をして下さる先生のお名前を記入して下さい。
 ※各部門チーム数と参加人数の総数を必ず記入して下さい。

「木工チャレンジコンテスト【製作部門】」 岐阜県大会 大会要項

1. 期 日

令和4年10月29日(土)

2. 場 所

国際たくみアカデミー

岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3545-3 ☎ 0574-25-2423

3. 主 催

岐阜県教育委員会(学校支援課)

岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会

4. 後援

岐阜県産業教育振興会 熊樹堂 トップマン 中日新聞社

5. 目的

中学校技術・家庭科の授業で身に付けた知識や技術を生かし、目的にあったものづくりを通して、生徒の知識や技術の向上を図るとともに、ものづくりに対する実践的な態度を養います。

互いの製作状況から知識と技術を学び合い、ものづくりへの意欲をさらに高めます。

6. 応募締切

令和4年9月30日(金)

参加者は最大で10名です。参加者多数の場合は、書類による事前審査により参加者を決定します。

7. 応募先

各務原市立川島中学校

岐阜県各務原市川島河田町1028番地1 ☎ 0586-89-2700

担当者 相宮隆二 <mailto:aimiya-ryuuji@edu.city.kakamigahara.gifu.jp>

8. 参加費

2,000円(大会運営費500円 材料費1,500円)

当日受付にてお支払いください。

9. 提出物

当日受付にて、構想図、問題解決レポート、材料取り図、工程表のコピーを一部提出してください。用紙は全国大会のwebサイト(<http://www.ajgika.ne.jp/~mokkou/>)からダウンロードしてください。

10. 応募方法

別紙申込書に必要事項を記入し、構想図、問題解決レポート(写真データで良い)を添付してe-mailで申し込んでください。なお、構想図に関しては内容が伝われば良いので、きっちりしたものでもなくともかまいません。

11. 競技内容

全国大会の要項(<http://www.ajgika.ne.jp/fair/22/doc/monog-guideline.pdf>)に準じ、木材による課題製作を通して、木工技術やデザイン、創造性を競います。

11-1 【課題】

与えられた材料を活用して、生活や社会の問題を木工の技術より解決できる作品を設計・製作すること。ただし、以下の条件を満たすものとする(自分だけではなく、誰かの役に立つものを製作できると良い)。

11-2 【条件】

- 出された競技課題をもとに、4時間以内に完成すること。特に仕上げ工程(ただし、塗装作業を除く)を疎かにしないように、各工程の時間配分を考えた設計に務めること。
- 使用する材料は、ヒノキ集成材(15^{ミリ}×200^{ミリ}×900^{ミリ}:2枚)、シナ合板(4^{ミリ}×450^{ミリ}×450^{ミリ}:1枚)とする。これら以外は、接合金具(クギ、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具、蝶番)及び、把手、フック、マグネットキャッチのみ使用可とする。
- 製作品の大きさは、3辺の合計長さが1600^{ミリ}以内とする。
- 製作工程において、さしがねによるけがき、両刃のこぎりによる切断、平かんによる部品加工、クギ打ちによる組み立て、定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業を含むこと。



11-3 【工具類】

- ・ 必要な工具類は、すべて参加者が用意すること。
- ・ 作業に適した服装、作業中の靴を使用すること。
- ・ 工具の種類は、現在中学校で使用されている技術・家庭科教科書(令和3年度入学の1年生へ支給された教科書は対象外とする)に掲載されているものに限る。
- ・ ジグは自作したのものに限って、使用可とする。
- ・ 鉛筆(赤鉛筆を含む)、鉛筆削り、消しゴム、タオル5枚程度。
- ・ 接合金具(クギ、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具、蝶番、把手、フック、マグネットキャッチおよびその取り付けに必要な手工具(三ツ目ぎり、ドライバ等)。
- ・ 全国大会で準備される工作機械(卓上ボール盤、糸のこ盤)は、県大会では準備しない。

11-4 【審査】

- ・ 審査は審査委員会(岐阜県中学校技術・家庭科の教諭、岐阜大学教育学部に在籍する学生等10名程度の予定)が行う。
- ・ 審査員は、競技時間全体を通してそれぞれの競技者ごとに審査を実施する。
- ・ 審査では、提出物や製作品の完成度、製作品や製作中の創意工夫、製作の技能と態度を評価する。なお、技能の審査対象は、さしがねによるけびき、クギ打ちによる組み立て、定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業に限る。例えば、のみ等による継ぎ手加工などは技能審査の対象外とする。

11-5 その他

- ・ 上記大会要項で定められた工具、材料以外の使用を禁止する。
- ・ 時間延長は30分に限り認めるが、減点対象とする(全国大会一次審査に応募することはできない)。
- ・ 加工ミス等をして指導者や審判員の手助けを受けたときは、減点対象とする。
- ・ 競技者の競技中の負傷については応急処置のみ行い、適宜医療機関で対応する。その間、競技タイマーは止まらないものとする。
- ・ 引率指導教員による助言は、昼食時間休憩中に行う。
- ・ 公平を期すため、当日の作業台(図1参照)は抽選で決定する。抽選順は、受付順とする。



前方にデジタイマを設置する

図1 会場図

※競技者の数によって、作業台が減ることがある。

11-6 表彰

- ・ 上位入賞者に賞状等を授与する。
- ・ 第1位の生徒は、県代表として全国大会一次作品審査に応募する権利が与えられる。全国大会は、各都道府県大会等で推薦された生徒の中から、一次審査を経た16名で競技を行う。
- ・ 全国大会一次作品審査に応募する場合、制作ビデオを提出する必要がある。県大会での競技中の様子を撮影するので、引率者は撮影機材を準備すること。
- ・ 全国大会は、令和5年1月28日にオンライン形式で行われる。詳細は、[全国大会の要項](#)を参照すること。

11-7 競技日程

時間	内容	備考
9:00	受付	構想図、問題解決レポート、材料取り図、工程表のコピーを一部提出
9:15	開会式	
9:45	製作競技開始(2時間)	
11:45	昼食・休憩	休憩時、他競技者の作業台を見て回ってもよい。ただし、材料や道具などに手を触れないこと。
12:45	製作競技開始(2時間)	
14:45	製作競技終了	
15:15	プレゼンテーション	ワークショップ形式によるプレゼンテーションを行う。審査員が競技者に製作品についてや製作意図について質問をして回る。競技者は必要に応じて収納するアイテムや使用環境の分かる写真などを準備してもよい。
15:30	作品審査	
15:45	閉会式(表彰)	

第22回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

第17回 岐阜県中学生技術・家庭科創造ものづくり教育フェア

木工チャレンジコンテスト【製作部門】 応募用紙

中学校名	
------	--

学年	性別	氏名	読み方

中学校のe-mailアドレス	
担当の先生	

※応募締め切りは令和3年9月30日(金)です。e-mailで大会事務局まで送付してください。

岐阜県木工チャレンジコンテスト大会事務局
各務原市立川島中学校 担当 相宮隆二
〒501-6025 岐阜県各務原市川島河田町1028番地1
☎0586-89-2700
Fax 0586-89-4656
e-mail : aimiya-ryuuji@edu.city.kakamigahara.gifu.jp